

令和元年度 ウィリング横浜 事業実績評価結果

事業	項目	総評
1 施設の管理運営・貸出業務	(1) 施設の目的に沿った管理運営	施設の目的に沿った管理運営は、適切に行われた。 ただし、周知、広報活動等の利用率向上に向けた取組を積極的に行っているが、個別要因があるものの、稼働率は減少傾向にあり、より一層の原因究明と対策が必要である。 建物、設備等の管理については、開館から20年以上経過し老朽化がみられる中、利用者アンケートを踏まえて計画的に修繕等を実施している。 職員体制・育成については、「職員配置計画」及び「職員育成計画」に基づき、適切に配置、研修が行われている。
	(2) 建物・設備等の管理	
	(3) 利用者ニーズの把握、苦情対応	
	(4) 職員体制・育成	
2 人材育成事業 (福祉、保健に関する研修会等の開催)	(1) 研修会等の開催	研修会の開催については、受講者アンケートの満足度が97%と高く、アンケートやヒアリングを分析して研修計画を改善している。
	(2) 研修委員会の開催	
	(3) 福祉保健活動従事者の研修ニーズ把握	
3 よこはま福祉・保健カレッジ	よこはま福祉・保健カレッジの運営	カレッジ認定講座や連絡会議を着実に実施しており、今後もカレッジ参画機関を増やす働きかけの継続を期待したい。
4 情報収集・提供事業	情報資料室の運営	利用状況の分析に基づいて展示方法を工夫し、利用の増加につなげている。 利用者の要望に応え、郵送による返却ができる体制を整え、利便性の向上を図っている。
5 人材確保・定着支援事業	人材確保・定着支援	福祉施設・事業所等の人材確保・育成状況の把握や定着支援に関する各種事業を着実に実施している。 事業の見直しをし、人材確保・定着に資する新たな事業を予定している。
6 調査研究事業	調査研究事業	自主研究団体へ必要な支援を行っている。
7 ウィリング横浜の特色を生かした独自性のある事業	(1) こころの相談室の運営	こころの相談室の運営については、利用率に関する分析を行っており、利用件数増加に向けた周知活動に積極的に取り組んでいる。
	(2) その他	
その他考慮すべき取組等		ラポール上大岡の開所に伴い、車椅子利用者の来館を想定し、特に情報資料室内の棚の配置や動線確認、配慮事項の確認を行った。